

# 特集 ～福島市の未来を語り合う 市民100人～ 開かれた市政でつくる 新しい総合計画！

市のまちづくりの指針となる「総合計画」をご存じですか？

市では、令和3年度から5年間のまちづくりの指針となる新しい総合計画の策定を進めています。計画の策定にあたり、令和元年度から多世代・多種多様な市民の皆さんから多くのご意見をいただき、まちづくりに参画していただけるよう、楽しく学び、話し合う「市民ワークショップ～総合計画Yu-Me(ゆめ)会議～」を開催しています。

今年度、5回にわたって開催されたYu-Me(ゆめ)会議では、毎回約100人の市民の皆さんに参加していただき、福島市の未来を楽しく、そして真剣に話し合っていました。

■問/政策調整課 ☎525-3788



▲まちづくりへのキーワードを掲げる参加者の皆さん



▲ワークショップでの熱い議論

## ～総合計画 Yu-Me(ゆめ)会議の振り返り～

### 第1回

#### ★テーマ

未来の福島市がまわりからとてもうらやましがられているとしたら、どのようなまちや暮らしになっているのでしょうか？

#### ★参加者からのご意見

お互いさまのまち、全世代に対応できるまち、地元愛を持って生き生きと過ごせる社会、チャレンジできるまち、魅力ある学校と企業 など

### 第2回

#### ★テーマ

福島市のもっと伸ばしたい「いいところ」、ぜひ解決したい「わるいところ」は何ですか？

#### ★参加者からのご意見

「いいところ」  
くだもの、野菜、温泉地、自然の豊かさなど  
「わるいところ」  
PR不足、街の活気、ごみの量、交通の利便性 など

### 第3回

#### ★テーマ

まちづくりシミュレーションゲームを通じて未来を語ろう～あなたがこれからの福島市にとって一番大切にしたいことは何ですか？～

#### ★参加者からのご意見

人と人のつながりを大切にすること、多様性を尊重する、全世代が住みやすいまちであること、住民が地元を自分事にする など

### 第4回

#### ★テーマ

福島市の○○の「いいところ」「わるいところ」をどうしたいですか？

#### ★参加者からのご意見

「いいところ」  
くだもの・温泉などの魅力的な素材  
⇒ふくしまブランドを確立、市民全員でPR など  
「わるいところ」  
駅前が寂しい  
⇒若者や高齢者が集える場所にする、新しいイベントを催す など

### 第5回

#### ★テーマ

福島市の「未来の新聞～ゆめ新聞～」※をつくらう～福島市の未来のためにあなたは何をしたいですか？～

#### ★参加者からのご意見

福島市をもっと知る！もっと好きになる！、福島市で一生過ごしたい、福島市のために何ができるか考える、地域に住む人の役に立つ など

## ～総合計画 Yu-Me(ゆめ)会議の参加者インタビュー～



### 武藤 昌太さん(高校生)

回を重ねるごとに面白く感じられるようになりました。福島市の過去、現在を見つめ直し、そして未来がどうあるべきかを、参加している方々の意見を聞きながら、自分の考えを深めていけるところに面白さを感じました。

この場を設けてくださった方々に感謝し、今後の「福島市を創る高校生ネットワーク」の活動に生かしていきたいです。



### 鈴木 白菜さん(大学生)

地元「福島市」について、幅広い世代の方々と一緒に考え交流できる貴重な機会だと思い参加しました。大学生としての自分の想いを伝えたりすることで、楽しみながら福島市への関心を深めることができ、自分もまちづくりに関わる一員であることを実感しました。今後はより福島市を身近に感じながら自分にできることを見つけていきたいです。



### 横江 悠紀さん(農業)

若手農業後継者の代表として参加しました。会議では、多くの方々からモモを福島のいいところとしてあげていただいて、一人の農業者としてとても勇気付けられました。また本当に皆さんパワフルで、これから福島を良くしていきたいという強い意志を感じました。参加者の一員として福島の発展に協力していきたいと思えます。



### 嶋 千寿子さん(主婦)

多世代・多種多様な参加者が一つのグループになり、共通のテーマについて対話を通して意見を出し合うことが毎回とても新鮮で、自分では気付かなかった市の魅力や課題を発見する事ができました。参加をきっかけに、市が今取り組んでいることや皆さんから得た情報を調べたり、実際に行ったりするようになりました。

## ～総合計画策定までの道のり～



令和3年度 新しい総合計画によるまちづくりがスタート！

令和2年度

市民の皆さんをはじめ、有識者の方々からもご意見をいただきながら、市の目指すべき将来のまちの姿を実現するために重点的に取り組む施策などを検討し、総合計画を決定します。

#### ★Yu-Me(ゆめ)会議の開催

令和元年度に引き続き、第6～10回を開催します。市民の皆さんからまちづくりへの意見やキーワードを出していただけます。

#### ★ふくしま新ステージ有識者懇談会の開催

専門的な知見を生かしつつ、大所高所の幅広い視点で総合計画の案に対して助言や提言をいただきます。

#### ★パブリック・コメント(意見公募)

総合計画の素案に対して、市民の皆さんからご意見を募集します。



令和元年度まで

★Yu-Me(ゆめ)会議の開催(第1～5回)  
★ふくしま新ステージ有識者懇談会の開催  
★市民アンケート調査の実施(回収数1,420/3,000人)



### 加留部 貴行氏

福島市総合計画市民参画アドバイザー  
(九州大学大学院統合新領域学府客員准教授、NPO法人日本ファシリテーション協会フェロー)

福岡から伺うたびに福島市民の「福島愛」の深さに心動かされます。

そして老若男女の多様なメンバーが混じり合う「まちの縮図」のような場での対話によって、参加者の皆さんがじわっとまちづくりを「自分事」として捉えていく姿が素敵だと感じています。

これからもみんなと一緒に自分のまちのことを考えていきましょう。

③ 第1～5回の総合計画「Yu-Me(ゆめ)会議」について、詳しくは市ホームページをご覧ください。また、市では、新しい総合計画に対するご意見を幅広く募集しています。



※第5回のYu-Me(ゆめ)会議で制作した「未来の新聞～ゆめ新聞～」は市役所9階展望・市民ロビーで展示しています(12月27日まで)。市役所にお越しの際は、ぜひご覧ください。